

★ 檀家さんに聞く

今回ご紹介するのは、昨年の春にオープンしたJR土佐加茂駅前にある集落活動センター『加茂の里』で月一回の子ども食堂を運営させている岩本ひとみさんです。

全国的に盛り上がりを見せる『こども食堂』の取り組みを通して、地域の協同を促す岩本さんの活動。

今これをお読みになっている方の中にもきっと多くの常連さんがいらっしやることでしょう♪



もともと主人が集落支援員で携わらせてもろうちよって、なんとか加茂を盛り上げていかないかんって事でバイカオウレンのウォーキングとかを皆で取り組みよったがね。だから、先に子ども食堂の構想があってこの施設ができたわけじゃないのよねえ。

2、3年ぐらい前からいろんなところで子ども食堂の活動が盛り上がって来よって、私の想いとしてもこの加茂で子ども食堂をやってみたいなあ〜、と考えよったのよ。

去年の3月で加茂の小中学校の給食室が無くなるのを機に、長年務めてきた調理員を退職することも決まっちゃったし、ちょうど良いタイミングでこの集落活動センターも出来上がるし、よしこの際！と思うてね。

でも実を言うと不安もかなり大きかったがねえ。今まで30年以上加茂の学校でやらせてもろうてやっと終わってこれからホッとできるなっていうのもあったしね。やっぱり食中毒の事とかは物凄い気を遣うし、給食の時とは違う

こともいろいろ出てくるろうと想像してねえ。

でも学校の給食室で使われよった厨房機器とか食器とかは給食室の取り壊しと一緒に廃棄されるはずやったんやけど、「加茂の里で子ども食堂をやったら再利用できるやん！」って思うた時に、やっぱりそれらを使い慣れちゅうのは地域の中では私しかおらんかったし、とりあえず月一回のペースで始めてみよう！ってスタートしたんやけどね。早や一年たった。(笑)

立ち上げる前は全国キャラバンの勉強会に出て学ばせてもろうたり、また近くの黒岩地区で先行してお試しでやってみるって時は見学させてもろうたりした。

見学を通して見ても、やっぱり子どもに人気の献立はカレーを作るのが主流やったき、学校で使いよった150人分作れる大釜で先ずはカレーを作ることをメインに始めたのよ。

そういう訳で始めはカレー主体やったけど、やりゆう内に献立がどんどん膨らんできて大変！(笑) 自分が皆さ

んにこんなものを食べてもらいたいとか、こういう調理の仕方があるっていうのを知ってもらいたい気持ちで献立が増えてきた面もあるんやけど、地域の方から頂いた新米とか野菜とかを更に美味しく調理して活かして喜んでもらいたいがね。だから頂いた方の名前を表記して食べてもらう方に知ってもらう工夫もしゆう。

子ども100円・大人300円でやりゆき正直自分のポケットマネーもつぎだまんと厳しいところも

あるんやけど、最初案に挙がっちゃったこの取り組みの名前は『みんな来いや〜加茂の里』やったから、子どもは勿論老若男女問わずたくさんの人に来てもらえるよう頑張りたいねえ。

自分自身を振り返るといろいろ病気も経験して、人生には限りがあるって思うからこそ今やりたいことを精一杯やっちゃきたいねえ！やっぱり私は調理が好きながやと思う・・・。

前回(4月)は183人！毎月第二土曜日の11時半からやりゆうきね〜！

